

利根川・江戸川流域治水プロジェクト (烏川・神流川区間)

烏川・神流川流域治水協議会

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【位置図】（烏川・神流川区間）

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、1都5県にまたがり、首都圏を擁した関東平野を流域として抱える利根川・江戸川においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、利根川本川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月カスリーン台風と同規模の洪水に対して資産の集中する首都圏中枢部での越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

④＜烏川・神流川区間＞



< S 2 2 . 9 カスリーン台風 >
烏川左岸 利根川合流点付近
芝根村（現：玉村町）五料地先堤防決壊

【完成後のイメージ】



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・洪水氾濫対策（堤防整備、調節池、河道掘削、ダム等の改良・維持補修、利水ダム等の事前放流等の実施 等）
- ・砂防堰堤等の整備（いのちとくらしを守る土砂災害対策）
- ・内水氾濫対策（下水道等の排水施設の整備）
- ・流出抑制対策（雨水貯留施設の設置に関する条例の制定）
- ・流域の雨水貯留機能の向上（防災調節池の整備、森林整備・保全、治山対策）

●被害対象を減少させるための対策

- ・水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫（宅地開発等に関する指導要綱の制定）
- ・まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実（内水氾濫マップの作成、河川監視カメラの設置）

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・防災公園及び防災体育館の整備
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・避難体制等の強化（水防倉庫の設置及び資機材の配置、水防資機材の配置）
- ・情報発信の強化（河川監視カメラの設置、洪水時におけるホットライン、想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの普及・啓発）
- ・早期復旧の体制強化（排水ポンプ車の運用、自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施）
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組

河川監視カメラの設置



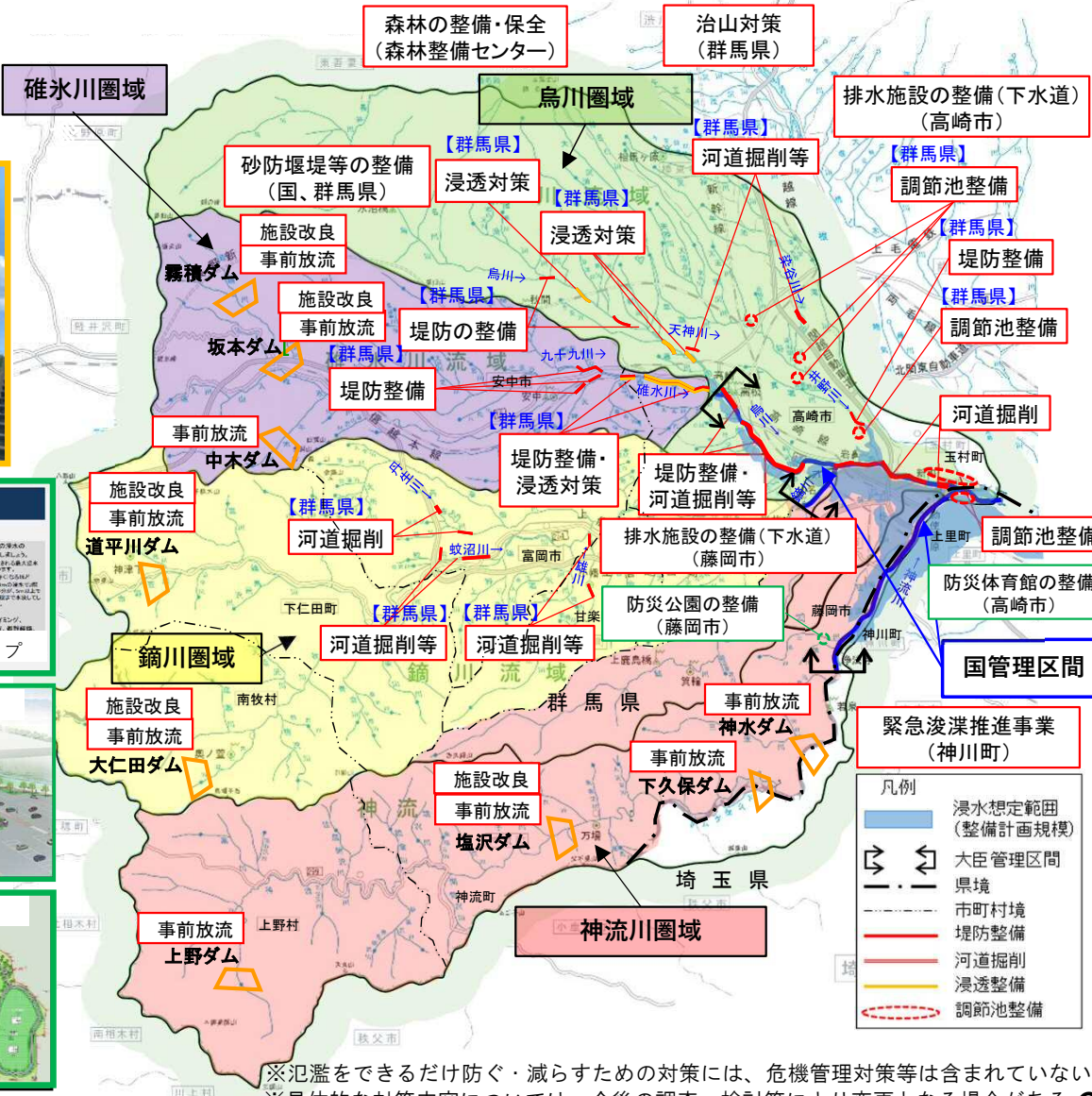
■地図で確認しましょう



高崎市 防災体育館



藤岡市 防災公園



※氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策には、危機管理対策等は含まれていない。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ】（烏川・神流川区間）

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

- 烏川・神流川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 河川の治水安全度を向上するため、烏川上流部の堤防整備を完成させる。また、宅地開発等の指導要綱の制定や防災公園の整備を完了させる。
- 【中期】 河川、下水道及び森林の整備を促進する。
- 【中長期】 土砂災害対策、調節池の整備や河道掘削等を完成させ流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容		実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水を安全に流す対策	堤防の整備	国・群馬県	烏川上流堤防整備完了		
		河道掘削	国・群馬県	烏川中・上流部河道掘削完了		
	洪水を貯める対策	調節池の整備	国・群馬県・安中市	烏川調節池完了		
		利水ダム等の事前放流	国・群馬県・安中市等			
	内水氾濫対策	雨水排水網の整備	高崎市・藤岡市			
	砂防堰堤等の整備	いのちとくらしを守る土砂災害対策	国・群馬県			
	流域の雨水貯留機能の向上	森林整備・保全・治山対策	国・群馬県 森林研究・整備機構森林整備センター			
被害対象を減少させるための対策	宅地開発等に関する指導要綱の制定		高崎市・藤岡市・富岡市・甘楽町・上里町			
	内水氾濫マップの作成・河川監視カメラの設置		玉村町			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップの策定・周知		高崎市・藤岡市・玉村町・上里町・神川町・安中市・下仁田町・富岡市	自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施		
	防災公園及び防災体育館の整備		藤岡市・高崎市	防災公園・防災体育館整備完了		



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■：対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):高崎河川国道事務所】

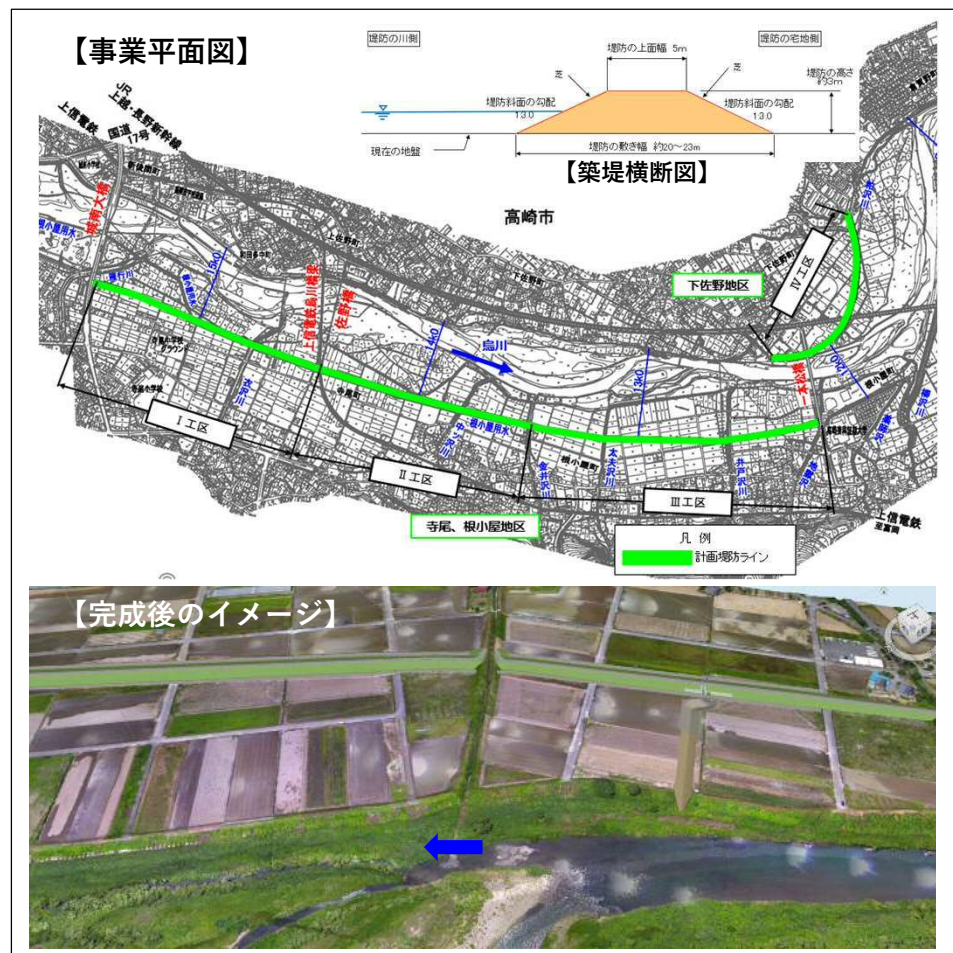
『烏川上流築堤事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(1) 洪水氾濫対策

① 堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



■取組の概要

1. 目的

現在、無堤部となっている烏川上流地区において、築堤を実施し治水安全の向上を図る。

2. 規模・構造

築堤 $L=3.2\text{km}$

3. 実施場所

高崎市寺尾町及び根小屋町地先

4. 取組実施により期待すること

築堤により洪水による被害を軽減する。

5. 今後の展開

築堤完了後、河道掘削に着手し、さらなる治水安全度の向上を図る。

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):群馬県】

『碓氷川河川改修事業』

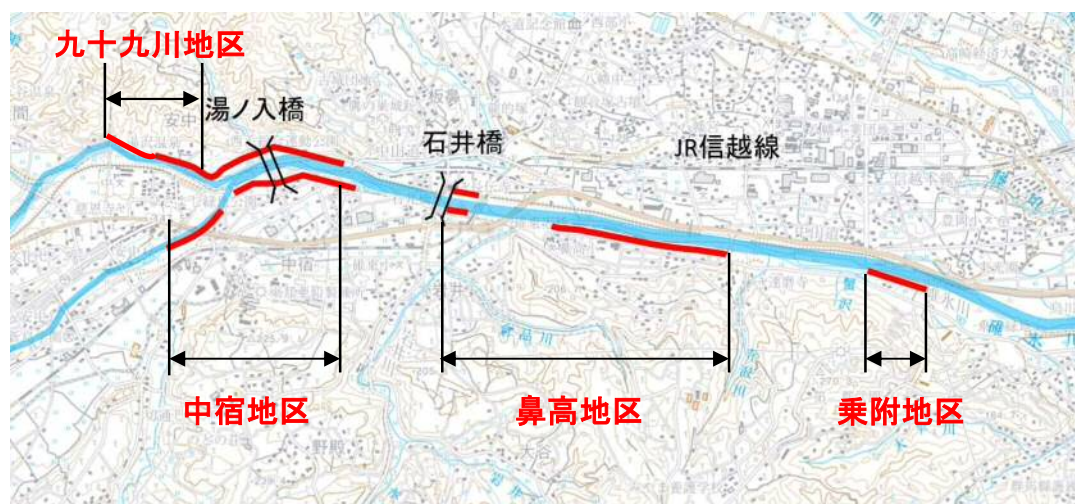
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(1) 洪水氾濫対策

① 堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

■事業位置



【整備イメージ】



【実施状況】



■取組の概要

1. 目的

(一) 碓氷川における堤防高不足箇所や無堤部において堤防を整備することで、氾濫をできるだけ減らします。

2. 事業内容

- ・ 乗附地区 (高崎市乗附町地先)
築堤: $L=300\text{m}$
- ・ 鼻高地区 (高崎市鼻高町地先)
築堤: $L=2,200\text{m}$
- ・ 中宿地区 (安中市中宿町地先)
築堤: $L=1,650\text{m}$
- ・ 九十九川地区
築堤: $L=1,000\text{m}$

■ 対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):群馬県】

『ダムの堰堤改良事業』等

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(1) 洪水氾濫対策

① 堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

(4) 流水の貯留機能の拡大

① 利水ダム等による事前放流のさらなる推進

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

【対象ダム位置図】



■ 取組の概要

1. 目的

ダムでの洪水調節機能を継続して発揮させていくため、長寿命化計画に基づき放流及び取水設備等の維持修繕・改良を実施し、ダム施設の信頼性を確保する。

また、ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用するため、事前放流により一時的に洪水を調節するための容量を確保する。

2. 実施ダム

以下の5ダムを対象とする。

- 霧積ダム (安中市松井田町坂本地先)
- 道平川ダム (甘楽郡下仁田町南野牧地先)
- 坂本ダム (安中市松井田町坂本地先)
- 塩沢ダム (多野郡神流町塩沢地先)
- 大仁田ダム (甘楽郡南牧村大仁田地先)

3. 堰堤改良の主な内容



■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):神川町】

『緊急浚渫推進事業』

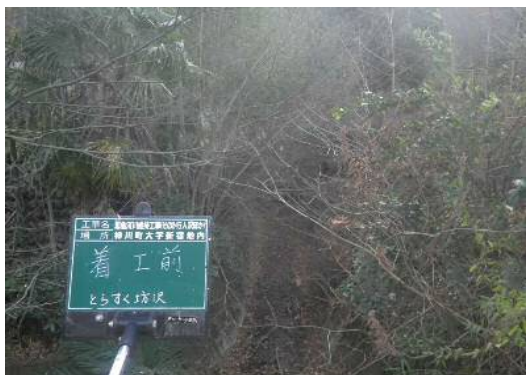
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(1) 洪水氾濫対策

① 堤防整備、ダム建設・再生等の加速化

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

【実施前】



【実施後】



■取組の概要

1 現状

町内の町管理河川は、小規模河川が多く、また急峻河川であることから、下流部の土砂の堆積が著しい。

こうしたことから、令和元年10月の台風19号では、堆積土が河積阻害を引き起こし、金鑽川の越水を始め、普通河川から町道や県道への土砂流出が相次いだ。

2 対策

町内の河川内に堆積した土砂の撤去及び支障樹木の伐採を実施し、河積阻害を解消することで、治水安全度の向上を図るものである。

3 対象河川

工区	対象河川
その1	金鑽川
その2	行人沢・とらすく坊沢
その3	柳池沢・上サ前沢・根際沢・政久保沢・池尻川
その4	幹沢川
その5	坊沢・平沢・小倉沢・中の沢
計	13河川

■ 対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):利根川水系砂防事務所】

『利根川上流域における直轄砂防事業』

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(3) 土砂災害対策

① いのちとくらしを守る土砂災害対策

【取組の概要】

・ 砂防堰堤等の整備により、「いのち」を守ることに加え「くらし」に直結する基礎インフラを保全すべく土砂災害対策を推進する。



集水井（施工例）



アンカー工（施工例）



床固群（施工例）



砂防堰堤（施工例）

烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村
群馬県

■ 対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):森林整備センター】

『水源林造成事業による森林の整備・保全』

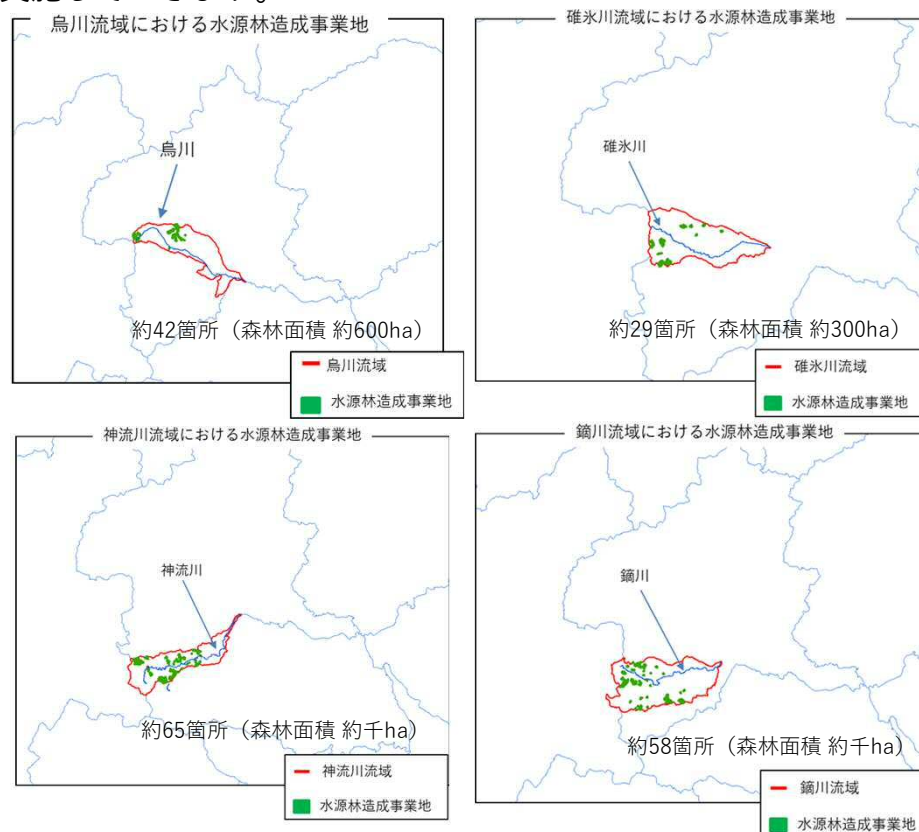
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

(5) 流域の雨水貯留機能の向上

② 森林整備、治山対策

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・全流域における水源林造成事業地は、約194箇所（森林面積 約2900ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



水源林の整備



針交混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



間伐実施後

■ 対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):玉村町】

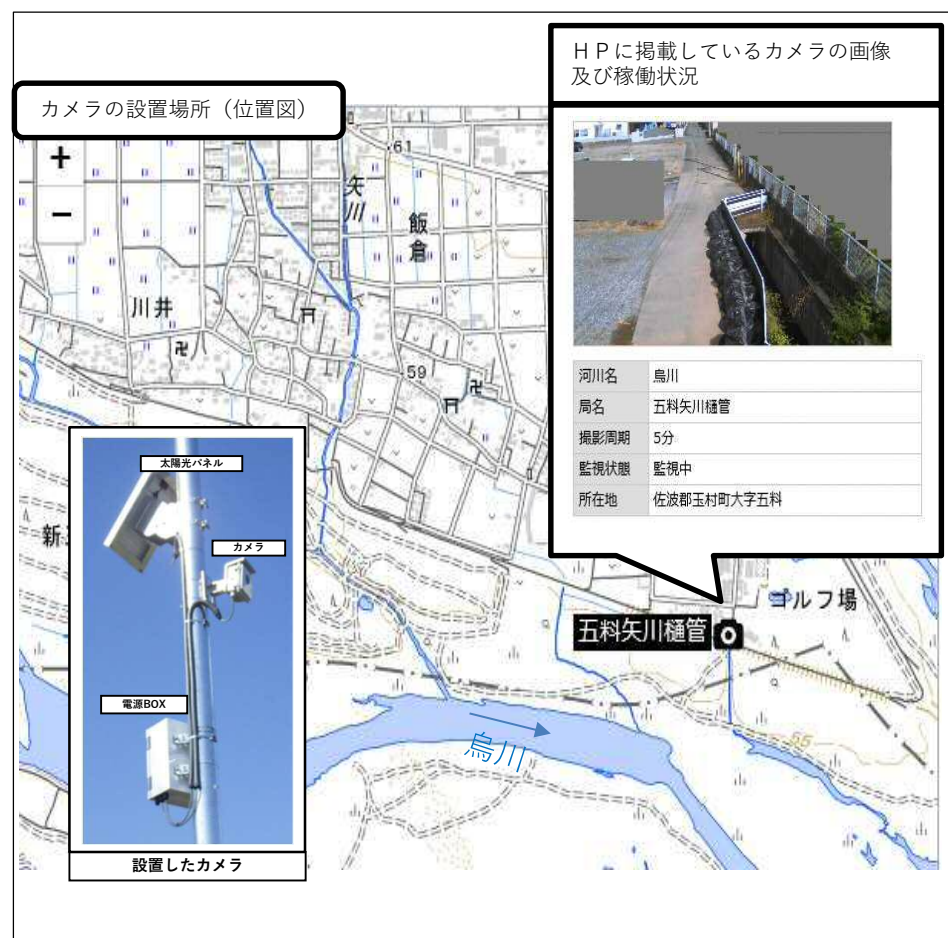
『河川監視カメラシステム設置事業』

2.被害対象を減少させるための対策

(2) まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実

①開発の規制や居住の誘導に有効な多段階な浸水リスク情報の充実

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



■ 取組の概要

1. 目的

過去に浸水被害が発生した箇所に監視カメラを設置し、浸水状況をリアルタイムで確認することで早期避難を促し、被害を未然に防ぐ。

2. 規模・構造

取得された画像データをデータベース化し、ブラウザで閲覧可能。

3. 実施場所

玉村町大字五料地内（矢川樋管付近）

4. 取組実施により期待すること

本システムを広く町民に周知することにより、豪雨や台風時における河川周辺住民の適切な避難判断を促す。

■ 対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):上里】

『ハザードマップ』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1) 避難体制等の強化

①ハザードマップやマイ・タイム・ライン等の策定

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



■ 対策の概要

1. 目的

国・県が発表する「想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域」に基づきハザードマップを策定、周知することで、水害による被害の軽減を図る。

2. 実施場所

上里町内 全世帯毎戸配布

3. 取組実施により期待すること

このハザードマップは、地図情報の他に、災害や避難に関する知識や各種災害に対応した対策などの学習情報を追加し災害に対する備えを平時から準備することの大切さを伝え、防災意識の高揚に繋げる。

4. 今後の展開

令和3年度には、避難基準の見直しによる最新の情報やマイタイムラインの様式、感染症対策など盛り込み、リニューアルを予定。

同時に外国語版（英語、ポルトガル語）を作成予定。

烏川・神流川流域治水協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村
高崎市、藤岡市、安中市、玉村町、下仁田町、神川町

■対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):藤岡市】

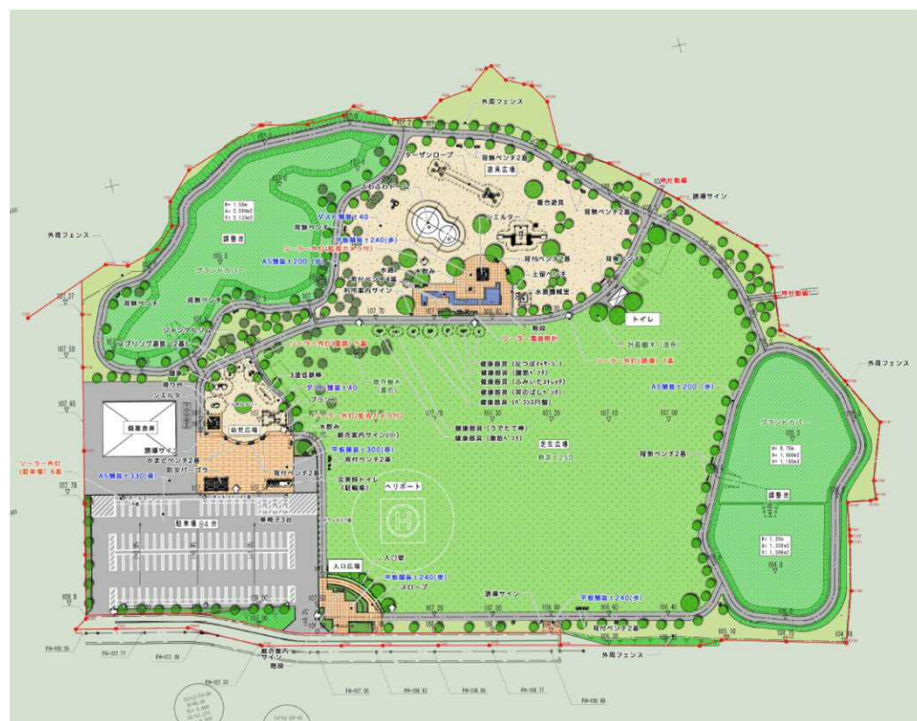
『防災公園整備事業』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1) 避難体制等の強化

②学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



藤岡市防災公園計画図

■対策の概要

1. 目的

大規模災害時に復旧・支援の活動拠点として整備。

2. 規模・構造

総面積：4.1ha

3. 実施場所

群馬県藤岡市神田1538

4. 取組実施により期待すること

大規模災害時には仮設住宅の設置や支援物資の集配拠点として、平常時には市民の憩いの場として活用する。

■ 対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):高崎市】

『新町防災体育館（仮称）の建設』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1) 避難体制等の強化

②学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



【イメージパース】

■ 対策の概要

- ・ 洪水浸水想定区域が広がる新町地域の緊急避難対策として建設
- ・ 屋上部にヘリポートと備蓄倉庫を設置
- ・ 地上から屋上部まで移動可能なスロープを設置

■ 対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):高崎市】

『排水ポンプ車の運用』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための充実

(1) 避難体制等の強化

②学校及びスポーツ施設の浸水対策による避難所機能の維持

※別紙「各対策のバーチャート」における分類



■ 対策の概要

台風や集中豪雨時における浸水被害を軽減することを目的として採用。

- ・ 3台体制（1 1t車：1台、8t車：2台）
- ・ 毎年出水期前に排水作業訓練を実施し、円滑な運用体制を構築する。



■ 対策事例 【利根川・江戸川流域治水プロジェクト(烏川・神流川区間):群馬県高崎市、藤岡市、富岡市、安中市】

『ため池ハザードマップの策定』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1) 避難体制等の強化

①ハザードマップやマイ・タイム・ライン等の策定

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

- 局所的な大雨などにより、老朽化したため池が決壊するなど、全国各地で被害が発生している状況を踏まえ、浸水想定区域を地図化するため池ハザードマップの作成により、災害発生時の地域住民の迅速かつ的確な避難誘導を可能とし、人的被害を軽減する。

【ため池とは】

農業用水を確保するために水を貯え取水できるように、人工的に造られた池

【ため池ハザードマップ】

ため池が決壊した場合の浸水被害範囲を記載した地図。災害発生時に迅速・的確な避難を行うため、避難場所などの情報も図示されている。



群馬県内にあるため池



管理者によるため池の点検

水害への取り組み事例

- ①ため池ハザードマップを作成
- ②地元説明会(ワークショップ)を実施し、ため池決壊等による水害リスクの周知や避難ルートの確認を実施



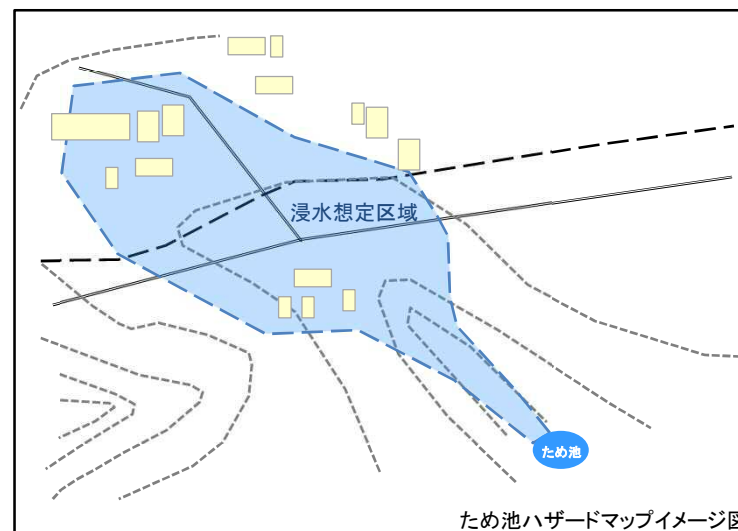
ため池ハザードマップ説明会の様子

◆ 水害リスク考慮のポイント

決壊により貯水量全量が下流に流れることを想定し、浸水想定区域を解析。水深、流速等から歩行不可能、困難、可能な範囲を図示し、避難ルート確認に活用。

【作成イメージ】

市町村主体でため池ハザードマップを作成し、ホームページにて公表している。

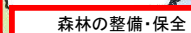


➡ 災害発生時の地域住民の迅速かつ的確な避難誘導を促し、人的被害を低減する。

対策区分	実施 主体	直ちに検討、 必要な対策を調整のうえ実	短期的に検討、 必要な対策を調整のうえ実	継続して検討、 必要な対策を調整のうえ実
1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策				
(1)洪水氾濫対策				
①堤防整備、ダム建設・再生等の加速化	国 県 市 町			
②「粘り強い堤防」を目指した堤防強化	県			
(2)内水氾濫対策				
①都市浸水対策の強化 （下水道浸水被害軽減総合事業の拡充等）	市 町			
(3)土砂災害対策				
①いのちとくらしを守る土砂災害対策	国 県			
(4)流水の貯留機能の拡大				
①利水ダム等による事前放流の更なる推進 （協議会の創設等）	国 県 市 民間			
(5)流域の雨水貯留機能の向上				
①流域の関係者による雨水貯留浸透対策の強化 （貯留機能保全区域の創設、 雨水貯留浸透施設整備の支援制度の充実）	県 市 町			
②森林整備、治山対策	国 県			
③雨水貯留浸透施設の整備 （民間企業等による整備、未活用の国有地の活用）	市 町			
2.被害対象を減少させるための対策				
(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫				
①リスクが高い区域における立地抑制、移転誘導 （浸水被害防止区域の創設）	市 町			
(2)まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実				
①開発の規制や居住の誘導に有効な 多段階な浸水リスク情報の充実	町			
3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策				
(1)避難体制等の強化				
①ハザードマップやマイ・タイムライン等の策定	市 町			
②学校及びスポーツ施設の浸水対策による 避難所機能の維持	市 町			
(2)関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化				
①被災自治体に対する支援の充実 （権限代行の対象を拡大し、 準用河川、災害で堆積した土砂の撤去を追加）	町		-	-

R 3.3 策定

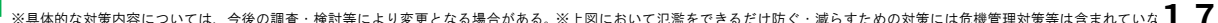
○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、1都5県にまたがり、首都圏を擁した関東平野を流域として抱える利根川・江戸川においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、利根川本川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月カスリーン台風と同規模の洪水に対して資産の集中する首都圏中枢部での越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 洪水氾濫対策(堤防整備、河道掘削、橋梁架替、調節池の整備、利水ダム等の事前放流、江戸川分派対策)
- 砂防堰堤等の整備(いのちとくらしを守る土砂災害対策)
- 流出抑制対策(条例等に基づく開発行為に対する流出抑制の指導・促進、下水道における雨水貯留施設の整備、校庭貯留、透水性舗装、自然地の保全、水田貯留、森林の整備・保全、雨水貯留浸透施設への助成制度、雨水貯留施設の整備、雨水幹線の整備、水田の貯留機能向上、開発許可での雨水貯留浸透施設設置の義務付け) 等

水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫
(高台避難地の整備、立地適正化計画の策定による水害リスクを考慮したまちづくり、土地利用規制、宅地開発等に関する指導要綱の制定)
浸水範囲の限定・氾濫水の制御(止水版等浸水防止施設設置の助成制度、まちづくりでの活用を視野に、土地の水災害リスク情報の充実、等

- 避難体制等の強化
(ハザードマップ及びまるとまちごとハザードマップの整備促進、水害リスク空白域の解消、要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、講習会等によるマイ・タイムライン普及促進、作成支援、地域住民や小・中学生等を対象とした防災教育の推進)
- 防災公園、防災体育館の整備
- 早期復旧の体制強化
(自治体職員を対象とした水防活動訓練の実施)
- 情報発信の強化
(プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置、水災害リスク情報の充実) 等



利根川・江戸川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～我が国の社会経済活動の中枢を担う首都圏を抱える関東平野を守る流域治水の推進～

参考

R3.3策定

- 利根川では、流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 利根川本川及び支川については、堤防整備、河道掘削及び洪水調節施設の整備を実施し浸水被害の軽減を図る。
 - 【短期】堤防整備、河道掘削等を行うとともに、国等においては首都圏氾濫区域堤防強化対策Ⅰ期、稲戸井調節池、思川開発事業を完成させる。また、千葉県において、大柏川第二調節池整備を完成させる。早期復旧・復興のための対策として防災公園(藤岡市)及び防災体育館(高崎市)の整備を完成させる。
 - 【中期】堤防整備、河道掘削等を引き続き推進し、国においては、利根川上流部において首都圏氾濫区域堤防強化対策Ⅱ期、利根川下流部において無堤部対策を完成させる。
 - 【中長期】堤防整備、河道掘削、洪水調節容量の確保、江戸川流頭部の整備、砂防堰堤等の整備の実施により、流域全体の治水安全度向上を図る。
- あわせて、我が国の社会経済活動の中枢を担う流域の特徴を踏まえた内水氾濫対策の強化(排水施設の整備等)及び流出抑制対策(雨水貯留浸透施設の整備、下水道整備、水田貯留等)を実施するとともに、被害対象を減少させるため、高台まちづくりを促進し、制度の充実による住まいの安全性向上や立地適正化計画の整備を推進する。
- 水災害リスク情報の充実、避難体制等の強化、関係者と連携した早期復旧の体制強化対策を実施。

区分	対策内容		実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための 対策	利根川（烏・神流川を 含む）の洪水を安全に 流す対策	堤防整備	国・県	首都圏氾濫区域 堤防強化対策（Ⅰ期）完了	首都圏氾濫区域堤防強化対策（Ⅱ期）完了 利根川下流部の無堤部の堤防整備	
		河道掘削	国・県			
	江戸川の洪水を安全 に流す対策	堤防整備	国・都県	首都圏氾濫区域 堤防強化対策完了・ 大柏川第二調節池整備完了		
		河道掘削	国・県			流頭部整備完了
	洪水を貯める対策	洪水調節容量の確保	国・県	稲戸井調節池・ 思川開発完了		
		利水ダム等による事前放流の実施	国・県・水資源機構等			烏川調節池、田中調節池、 藤原・奈良俣ダム再編
		流出抑制対策	都県・区市町村	雨水貯留施設、雨水幹線の整備 水田の貯留機能向上		
	砂防施設の整備	いのちとくらしを守る土砂災害対策	国・県			
	被害対象を減少さ せるための対策	土地利用や住まい方に関する対策	都県・区市町村	土地利用規制、立地適正化計画の策定、高台・避難場所整備		
被害の軽減、早期 復旧・復興のための 対策	避難体制等の強化	国・都県・区市町村	マイ・タイムラインの普及促進、避難確保計画作成の促進			
	情報発信の強化	国・都県・区市町村	危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置、 プッシュ型情報発信			
	早期復旧の体制強化	国・都県・区市町村	水防訓練等の実施			
	防災公園及び防災体育館の整備	高崎市・藤岡市等		防災公園・防災体育館整備完了		



■河川対策

- 全体事業費:
約9,527億円
- 対策内容
堤防整備、河道掘削、調節池 橋梁架替 等

■砂防対策

- 全体事業費:
約1,539億円
- ※利根川水系直轄砂防事業、直轄地すべり対策事業及び浅間山直轄火山砂防事業として
- 対策内容
砂防堰堤、流路工、地滑り対策 等

■下水道対策

- 全体事業費:
約1,043億円
- 対策内容
雨水幹線 調整池 等

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■:対策実施に向けた調整・検討期間を示す。